

令和4年度第5回滋賀県総合教育会議の結果について(報告)

令和4年度第5回滋賀県総合教育会議において、次期「滋賀の教育大綱」の策定に向けた子どもの意見を聴く機会を設けた。

日 時 令和5年3月27日(月) 15:00-17:00

場 所 滋賀県庁東館7階大会議室

出席者 三日月知事、大杉副知事、福永教育長、土井委員、岡崎委員、野村委員、
中学生(10名)、高校生(11名)

議 事

次期「滋賀の教育大綱」策定に向けた、これからの教育についての中高校生との意見交換

【主な意見】

(1)中学生からの意見

- ① 郷土学習で様々なまちへ行き、プレゼンテーションを行ったことがきっかけで地域に興味を持つようになった。郷土に関するプレゼンテーションや発表の授業が更にあると良い。
- ② ALTの先生をさらに活用するなどして、本場の英語を聞く機会が増えると良い。
- ③ ICTを活用するに当たり、ICT機器と紙それぞれのメリットやデメリットを認識して、ツールを使い分けていくべき。
- ④ 部活動などで忙しい生徒のために、おすすめ図書を紹介してくれる機械の設置や、短い時間で読める本を増やすなどしてほしい。
- ⑤ 漫画からも学べることがある。一律に図書室への漫画の設置を禁止すべきでない。
- ⑥ 地域の方を交えて生徒会活動を行っている。校外まで生徒会の輪を広げ、地域の人と一緒に考える機会は大切である。
- ⑦ インフラに携わる企業で職場体験を行い、日常生活を支えて下さっている方々について学ぶ良い機会になったと思う。
- ⑧ 進学する高校は、自分の能力や個性を生かせる環境かどうかという観点で選択したい。
- ⑨ 高専は就職率が高いらしく興味があるが、近くにはないため、選択肢に入れ難い。

(2)高校生からの意見

- ① 多くの高校では給食がないため、共働きが増えている各家庭において弁当等の用意が負担になっている。他県の事例を参考に、選択的デリバリー弁当の制度を検討してほしい。
- ② 先生の仕事量の多さが問題になっているが、先生方が時間のゆとりを持ち、生徒へ目配りできる時間を確保することは、生徒の安心にもつながる。
- ③ 生物は飼育が難しいのでコミュニケーションロボットを置いたり、フリースペースを設置して、クラスの垣根を越えた交流を促進することも、生徒の安心につながる。
- ④ 最近話題となっている校則の見直しについて議論することで、役員以外の生徒が自分ごととして認識する機会となり、生徒会活動の活性化につながるのではないかと。
- ⑤ 校則では化粧が禁止されているが、社会ではマナーとして求められる。学校はマナーを学ぶ場所だと思いため、化粧は禁止しなくても良いのではないかと。
- ⑥ 自ら調べてレポートを作成したり、新聞の記事を用いて討論を行ったりするなど、主体的に学ぶ機会を通じて、自身の考えが深まったと思う。このような機会が増えると良い。
- ⑦ 今どきの生徒はデジタル機器を利用する機会が多くある一方で、大人が思っている以上に基礎的なタイピングの技術や、パワーポイント、エクセルの使い方などが身に付いていない人も多いため。また、様々な情報を得ることはできても、必要な情報を取捨選択する能力があまり身に付いていないと思うので、デジタルの有効活用について学ぶことが大事。
- ⑧ 通っている高校では、スマートフォンから図書室の図書が予約できるなど、大変充実している。
- ⑨ 学校図書館を利用する際に、どのような本を借りているかといったプライバシーが心配。また、本を選ぶ時間の観点からも、デジタルライブラリを導入すると良いのではないかと。